

The 49th Clayteam セミナー

東北イノベーション宣言

講演内容（ショートアブストラクト）※敬称略

●講演 1

「プラスチック成形加工と資源循環 ～リサイクル材料の高機能化」

伊藤 浩志[山形大学 大学院有機材料システム研究科 研究科長・教授]

我々の身の回りには多くのプラスチックが利用されている。プラスチックは我々の生活を豊かにし、また必要不可欠な材料である。しかし近年、マイクロプラスチックに代表されるプラスチックの海洋ゴミに代表され、社会的にはプラスチックの減量化、再利用、リサイクル、リユースなどを促進するプラスチック資源循環促進法が 2022 年に制定されている。山形大学では、2016 年グリーンマテリアル成形加工研究センターが文科省補正予算によって設立され、様々なプラスチック素材および加工技術について教育と研究に注力している。本講演では、プラスチックの基礎、成形加工技術、さらに我々の研究を広く紹介する。特に、ポリマーブレンド・複合化によるリサイクル材の高機能化についても紹介する。

●講演 2

「クレイナノプレート標準化サービスの進捗」

蛭名 武雄 [産業技術総合研究所 東北センター 所長]

Clayteam では ISO のナノテクノロジーに関する技術委員会である TC229 において、クレイナノプレート製品の標準化を行い、かかる規格文書 ISO/TS21236-2:2021 を出版した。現在 Clayteam の分科会であるナノマテリアル規格認証委員会(CSCN)では、本製品および関連製品の市場拡大を見据え、世界に先駆けて認証制度の創設を目指している。2022 年 11 月に試験所指定制度を開始し、2 件の試験所指定を行った。現在は製品認証に向けてその準備をしている。本講演では、本標準化サービスの概要、現状と今後について紹介する。

●講演 3

「東北イノベーション宣言のご説明」

後藤 浩平 [産業技術総合研究所 東北センター 所長代理]

地域経済は、少子化による就業人口の減少に直面する一方、グローバル化を含む地域間競争に曝されている。東北地域の経済を持続的に強化するための取組について、同地の産学官連携に関わる 8 つの団体のリーダーによる「地域企業支援事業検討会」で議論を行って来たが、今後の東北地域の発展と繁栄を追求し、持続的な経済成長を促進する事を目指して、東北イノベーション宣言にまとめたので、その内容について紹介する。